

プラン名 既習を生かして問題を解き対話!! (①80%+③65%)

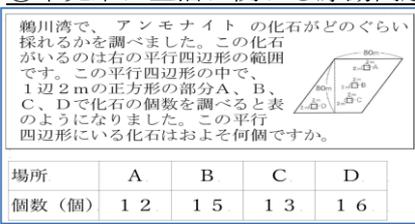
12か条+(プラス)
2条
6条

1 授業づくり

(1) 現状・課題 (R)

課題	現状 (科学的データ)		
	令和元年度 県評価問題		
活用力問題の正答率は昨年度 % から % へと上がってきている。しかしながら、苦手な問題傾向として、図を式に表したり、式から図や数量関係を読み取ったりすることが挙げられる。また、複数の情報から数量関係を見出し、解決の見通しをもつことも苦手と感じている。	5年算数科	5 (3) 目標タイムの式の数が表す意味を書く問題 8 (2) 提示された表現方法を適用して書く問題	正答率 % (県 38%) 正答率 % (県 42%)
	令和元年度 CRT 検査 (12月実施)		
	算数科得点率 (平均)	低 % (全国 73.2%) 高 % (全国 64.5%)	
	関心・意欲・態度	低 % (全国 71.2%) 高 % (全国 68.9%)	
	令和元年度後期学力向上プラン		
	活用する力をみる問題 (SSN 参考)	低学年 % 高学年 %	
	適用問題正答率 (数学的な考え方)	低学年 % 高学年 %	
	[要因]		
	○基本的な計算の知識、技能は定着している。 ▲図を基に式に表したり、式から図や数量関係を読み取ったりすることが難しい。 ▲複数の情報から数量関係を見出すことが苦手である。 ▲高学年で算数科への興味・関心が低い傾向がある。		

(2) 計画と実行 (P・D)

前期目標	具体的取組	評価項目	評価 (結果)
①日々の実践 自分の考えをノートに書ける。	①【式+ (図 or 言葉)】で自分の考えを書かせる。  まずは、自分の考えをノートに書こう。【式に図か言葉】を付け加えると自分の考えが整理できて、説明しやすいね。	①自分の考えを書いた。【式+図 or 言葉】 (% 以上)	(%)
②単元末での実践 複数の情報を関連付け、場面を数理的に捉える必要のある発展問題 (原勤問題) が解ける。 ※学びの指針2条	②単元末に生活に関わる原勤問題に取り組む。  鶴川湾で、アンモナイトの化石がどのくらい探れるかを調べました。この化石がいるのは右の平行四辺形の範囲です。この平行四辺形の中で、1辺2mの正方形の部分A、B、C、Dで化石の個数を調べると表のようになりました。この平行四辺形にいる化石はおよそ何個ですか。  どうすれば解けるかな? 複数の情報から数量を把握して、数量関係を基に解決の見通しを持つ。わからない部分を話し合いで解決していくよ。友達はどのように考えたか説明できるかな。	②塾則5タイム 指導者：児童発話数の割合 = : ③適用問題正答率 (% 以上)	(:) (%)
・参観シート (研究授業)	①自分の考えを書いた。【式+図 or 言葉】 (% 以上)		(%)
・原勤問題取組	②塾則5タイム 指導者：児童発話数の割合 = : ③適用問題正答率 (% 以上)		(:) (%)
・活用力問題 (SSN)	単元末原金 (発展) 問題取組 3単元以上		(%)
・児童アンケート	各学年正答率 % (5月、7月)		(%)
	「算数の勉強は好きだ」肯定回答 % (6月)		(%)

(3) 検証と改善策 (C・A)

月	評価項目 (誰が, いつ)	結果	改善策
4	授業で大切なことの共通理解を図る。 (研究主任・校内研修)		
5	<input type="checkbox"/> 参観シート①②③【6年研究授業】 <input type="checkbox"/> 活用力問題【検証 第4週】		
6	<input type="checkbox"/> 参観シート①②③【3年研究授業】 <input type="checkbox"/> 児童アンケート【第3週】		
7	<input type="checkbox"/> 参観シート①②③【4年研究授業】 <input type="checkbox"/> 活用力問題【検証 第2週】 <input type="checkbox"/> 原金問題取組【検証 第4週】		

2 基盤づくり

前期目標	具体的取組	評価
児童同士で学び合う意識を高めよう。 【目標の割合】 指導者：児童 : ※学びの指針6条	・児童同士の対話の土台を構築する。  算数科で塾則5タイムを設けよう！話し合いモデルをもとに、子どもたちに話す視点 (教師の明確な意図) を与え、対話で解決させてみよう！ (5分間)	5月 6月 7月